

xfy Adapter 1.0 for Lotus Notes/Domino

導入ガイド

-
- 本製品は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、本製品にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
 - xfy、XVCD は、株式会社ジャストシステムの日本および、その他の国における登録商標または商標です。
 - Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Domino、Lotus、Lotus Notes、Notes は、IBM Corporation の登録商標です。
 - Java は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
 - 本マニュアル（紙媒体または電子データで提供するものを含みます）は株式会社ジャストシステムが作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社ジャストシステムに帰属します。
使用許諾契約書の条項のほか、以下の点も合わせてご確認ください。
 1. お客様は、マニュアルを現状の内容のまま、もしくは編集・修正して、画面上もしくは紙資料として利用することができます。ただし、これを第三者へ提供したり、貸し出しすることはできません。
 2. マニュアルの内容の一部または全部を、株式会社ジャストシステムの書面による許可なく複写、複製して頒布することは、その形態を問わず禁じます。
 - マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

2007 年 8 月 17 日 ©2007 株式会社ジャストシステム

はじめに

本書では、xfy Enterprise Edition の運用管理者を対象に、xfy Enterprise Edition を利用している環境へ xfy Adapter 1.0 for Lotus Notes/Domino を導入して、クライアントユーザーが利用できるようなるまでの手順について説明します。

本書の記載は、次の知識を持つことを前提としています。

- コンピュータのシステム管理
- xfy Enterprise Edition のシステム管理
- Lotus® Notes®/Domino®の操作や管理

参照先の表記

関連する機能や詳細について解説している項目を「→」に続けて紹介しています。

【表記例】

- 本書の項目の紹介
→ 2.1. 導入前の準備
- ほかのマニュアル・ヘルプの項目の紹介
→ Notes コンポーネント ヘルプ Notes コンポーネントを使えるようにする
※ マニュアル・ヘルプ名を で囲んで表しています。

ほかのマニュアル・ヘルプの使い方

xfy Enterprise Edition の次のマニュアルを本書とあわせて参照してください。

- xfy Enterprise Edition システム管理ガイド - xfy Server の運用 -

上記のほか、xfy Enterprise Client や各種ツールなどのヘルプを案内している場合があります。これらのヘルプは、xfy Enterprise Client や各種ツールを導入すると、それぞれのヘルプメニューなどから参照できます。

コマンドラインツールのパラメータの表記

コマンドラインツールを実行するときの書式は、次のように表記します。

- 書式例は、囲みの中に記述します。
- コマンドやパラメータは、固定ピッチフォントで表記します。（日本語で示しているパラメータの値を除く）
- 省略可能なパラメータは、[] で囲んで表記します。
- コマンドやパラメータが 1 行で収まらない場合は、折り返して表記している場合があります。

【表記例】

```
/directory1/directory2/directory3/command -param1 -param2 [-param3 ○○○]  
[-param4 ○○○]
```

入力例の表記

ファイルやダイアログボックスでの入力例は、次のように表記します。

- 入力例は囲みの中に記述します。
- 入力する文字列は、背景色を にしています。
- 1行で収まらない場合は、折り返して表記している場合があります。

【表記例】

hostname:80

省略・読み替え表記

表記	正式名称
xfy Adapter for Lotus Notes/Domino	xfy Adapter 1.0 for Lotus Notes/Domino

目次

1. xfy Adapter for Lotus Notes/Domino の概要	5
1.1. xfy Adapter for Lotus Notes/Domino が提供する機能.....	6
1.1.1. 配信パッケージ.....	6
1.1.2. 提供する機能.....	6
1.1.3. 認証とアクセス権限.....	7
2. xfy Adapter for Lotus Notes/Domino の導入手順	8
2.1. 導入前の準備.....	8
2.1.1. Domino サーバーの設定.....	8
2.1.2. クライアント環境の準備.....	9
2.2. パッケージの配信.....	9
2.3. クライアント環境での設定の連絡.....	10

1. xfy Adapter for Lotus Notes/Domino の概要

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino は、xfy Enterprise Edition のクライアントソフトウェアに Lotus Notes/Domino へ接続する機能を追加するオプション製品です。

xfy Enterprise Edition が導入された環境に xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を導入すると、Lotus Notes/Domino で Notes データベースに蓄積された文書を xfy Enterprise Client で活用することができます。Notes データベースに蓄積された情報を xfy Enterprise Client から検索し、その情報を目的に合った視点で文書化したりグラフ化したりした XML 文書を作成できます。また、Notes データベースから取得した情報とほかのシステムから取得した情報を関連する視点でまとめて、情報の価値を高めたり新しい価値を見つけたりすることもできます。

こうして作成した XML 文書は、xfy Enterprise Edition の XML オブジェクトリポジトリへ保存して、情報の共有や活用を図ることができます。

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を使って Notes データベースの情報を活用することで、既存の情報資産の利用価値が高まり、情報を有効に生かすことができるようになります。

この章では、xfy Adapter for Lotus Notes/Domino の概要として、次の項目を説明します。

- xfy Adapter for Lotus Notes/Domino が提供する機能
- xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を利用するために必要な環境

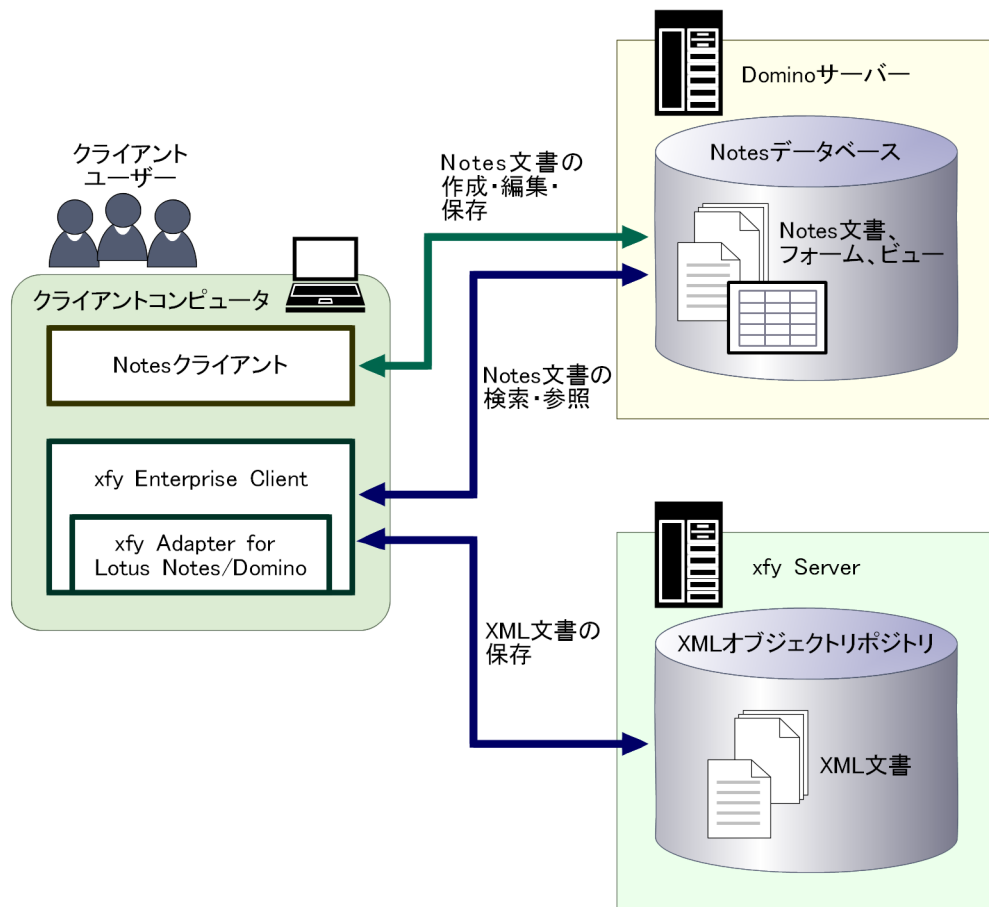


図 : xfy Adapter for Lotus Notes/Domino の機能概略

1.1. xfy Adapter for Lotus Notes/Domino が提供する機能

xfy Adapter for Lotus Notes/Dominoには、xfy Enterprise Editionの配信パッケージが含まれています。xfy Adapter for Lotus Notes/Dominoの配信パッケージをxfy Serverの配信機能でxfy Enterprise Clientに配信すると、xfy Adapter for Lotus Notes/Dominoの機能をxfy Enterprise Clientで利用できるようになります。

ここでは、xfy Adapter for Lotus Notes/Dominoに含まれる配信パッケージと、その配信パッケージで提供される機能について、説明します。

1.1.1. 配信パッケージ

xfy Adapter for Lotus Notes/Dominoには、次の配信パッケージが含まれます。

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino パッケージ

xfy Enterprise EditionにLotus Notes/Dominoデータベースへ接続する機能を追加するパッケージです。このパッケージに含まれる機能については、下記をご覧ください。

→ 1.1.2 提供する機能

配信パッケージのファイル名は xfy-adpt-notes_1_0_1_0.zip です。

1.1.2. 提供する機能

xfy Adapter for Lotus Notes/Dominoの配信パッケージによってクライアント環境に提供される機能は、次のとおりです。

Notes コンポーネント

Notes データベースから情報を検索し、その結果を利用するために必要な機能を提供するポキャブラリコンポーネントです。

Notes コンポーネントをXML文書に挿入してコマンドを実行すると、Notes データベースから情報を検索するためのダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで検索条件を設定して、Notes データベースに蓄積された情報を検索します。検索した結果は、オートレイアウトやアダプティブテンプレートといった、xfy Enterprise Clientに含まれる機能を使って、文書の用途に合わせて表示形式や表示する項目を変えることができます。また、検索結果のNotes文書をNotesクライアントで開いたり、Webブラウザで表示したりすることもできます。

ダイアログボックスで設定した検索条件はXML文書内に保存されます。また、検索結果をいっしょにXML文書内に保存することもできます。

Notes コンポーネントで提供される機能について、詳しくは下記のヘルプをご覧ください。

→ [Notes コンポーネントヘルプ](#)

xfy Enterprise ClientでNotesコンポーネントを選択しているときに、[ヘルプ]から参照できます。

Notes/Domino 接続コンポーネント

XVCD スクリプトで利用できる、Notes データベースに接続してデータを取得するために使用する XPath 関数やコマンドインストラクションを提供するコンポーネントです。Notes データベースから取得したデータは、XML データで表されます。

XVCD スクリプトで Notes/Domino 接続コンポーネントで提供される XPath 関数やコマンドインストラクションを使用したボキャブラリコンポーネントを作成すると、より自由なデータ処理を実現できます。

Notes/Domino 接続コンポーネントで提供される XPath 関数やコマンドインストラクションの仕様について、詳しくは下記のリファレンスをご覧ください。

→ [Notes/Domino 接続コンポーネントリファレンス](#)

管理者用ダウンロードサイトから入手します。ファイル名は `reference_notes.html` です。

また、XVCD を使ったボキャブラリコンポーネントの作成方法や実現できる機能について、詳しくは下記の文書をご覧ください。

→ [xfy デベロッパーズガイド](#)

管理者用ダウンロードサイトから入手します。ダウンロードしたファイルを展開し、展開先の `index.html` を Web ブラウザで開くと目次ページが表示されます。

補足：Notes/Domino の編集について

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino では、Notes 文書を編集したり、編集した Notes 文書を Notes データベースに更新したりする機能は提供していません。

Notes 文書を編集する場合は、Notes クライアントで行います。

1.1.3. 認証とアクセス権限

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino で Notes/Domino のデータを利用するときの、認証とアクセス権限について説明します。

Domino サーバーへの認証

接続先の Domino サーバーのホスト名や、Domino サーバーでの認証に使用するユーザー名とパスワードは、あらかじめ xfy Enterprise Client で設定しておく必要があります。Domino サーバーへ接続するときは、設定された Domino サーバーのホストへ、設定された認証情報を使って接続します。

ただし、Domino サーバーに匿名でアクセスする場合は、ユーザー名とパスワードは設定する必要はありません。

Notes/Domino のデータへのアクセス権限

Notes/Domino の各データに対するアクセス権限は、Notes クライアントと同じユーザーを認証に使う限り、Notes クライアントでアクセスするときと同じになります。

2. xfy Adapter for Lotus Notes/Domino の導入手順

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を利用するには、次の作業が必要です。

- 導入前に Domino サーバーやクライアント環境で必要な設定を済ませる
- xfy Adapter for Lotus Notes/Domino の配信パッケージをクライアント環境へ配信する
- クライアント環境で、Domino サーバーへ接続するために必要な情報を設定する

この章では、xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を、xfy Enterprise Edition を使用している環境へ導入する手順と、xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を利用するために、クライアントユーザーへ連絡する内容について説明します。

2.1. 導入前の準備

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を導入する前に、Domino サーバーとクライアント環境のそれぞれで作業が必要です。ここでは、それぞれに必要な作業について説明します。

2.1.1. Domino サーバーの設定

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を使って接続する Domino サーバーで、Java プログラムから通信できるように設定します。

ここでは設定手順の一例を簡単に示します。詳しい設定方法は、Lotus Notes/Domino のマニュアルやヘルプを参照してください。

1. notes.ini ファイルの設定を確認・変更する

Domino サーバーのインストールディレクトリにある notes.ini ファイルに、次の行が記述されているか確認します。

```
ServerTasks=<any other tasks>,http,diiop
```

記述されていない場合は、追記したあとで Domino サーバーを再起動します。

2. サーバー文書の設定を確認・変更する

Domino Administrator でサーバー文書を開き、項目の設定を確認・変更します。

セキュリティ

アクセスするユーザーを制限する場合、必要に応じて [サーバーアクセス] で [サーバーへアクセス可] や [サーバーへアクセス不可] を設定します。

ポート

[インターネットポート] シートに含まれる [DIOP] シートで、[認証オプション] の [名前とパスワード] を [はい] にします。

匿名アクセスを許可する場合は、[匿名] も [はい] にします。

インターネットプロトコル

[HTTP] シートの [R5 基本] で [HTTP クライアントからのデータベース参照を許可] を [はい] にします。

設定が異なる場合は、設定を変更してサーバー文書を保存します。そのあと、次の手順で設定を反映します。

1. コマンドプロンプトで、次のコマンドを実行します。

```
tell diiop refresh
```

2. コマンドプロンプトで、次のコマンドを実行します。

```
tell http refresh
```

Domino Administrator での設定について、詳しくは Domino Administrator のヘルプを参照してください。

3. インターネットパスワードを設定する

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を使って Domino サーバーに接続するユーザーに対して、インターネットパスワードを設定します。インターネットパスワードの設定には、Domino Administrator を使用します。

Domino Administrator での設定について、詳しくは Domino Administrator のヘルプを参照してください。

補足：ユーザーが所属していないドメインへのアクセスについて

Domino サーバーや Notes クライアントで相互認証を利用している場合、ユーザーが所属していないドメインの Domino サーバーにアクセスできるようにするために、次の設定をします。

- ユーザーが所属している Domino ディレクトリを 2 次 Domino ディレクトリにする
- ディレクトリアシスタントデータベースで信頼されたドメインにする

設定手順について、詳しくは Domino Administrator のヘルプをご覧ください。

2.1.2. クライアント環境の準備

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を利用するクライアント環境には、xfy Enterprise Client と Notes クライアントが必要です。

クライアント環境にこれらのソフトウェアが導入されていない場合は、導入して利用できる環境を整えておくように、クライアントユーザーへ連絡します。

xfy Enterprise Client の導入については、下記をご覧ください。

→ [xfy Enterprise Edition システム管理ガイド](#) 2.2. 運用環境の公開

Notes クライアントの導入については、Lotus Notes/Domino のマニュアルを参照してください。

2.2. パッケージの配信

導入前の準備が完了したら、xfy Adapter for Lotus Notes/Domino の配信パッケージファイル xfy-adpt-notes_1_0_1_0.zip を xfy Server の配信管理に登録します。登録には、xfy Server の Web アプリケーションツールである配信管理ツールを使用します。詳しくは、下記をご覧ください。

→ [xfy Enterprise Edition システム管理ガイド](#) 3.2. クライアントへのプログラム配信

また、配信管理ツールの使い方は、下記のヘルプをご覧ください。

→ [配信管理ツールヘルプ](#)

2.3. クライアント環境での設定の連絡

xfy Adapter for Lotus Notes/Domino の配信パッケージがクライアント環境に配信されたあと、その機能を利用するには設定が必要です。運用管理者は、クライアントユーザーに xfy Adapter for Lotus Notes/Domino を xfy Enterprise Client で利用するために必要な設定の情報を連絡します。連絡する情報は次のとおりです。

- Domino サーバーへ接続するために設定する項目
- Domino サーバーへの接続情報を設定する手順
- 設定結果の確認手順

この節では、それぞれの情報について、運用管理者がクライアントユーザーへ案内する内容を記述しています。運用管理者は、この節に書かれた内容を、実際の利用環境に適した内容にしてクライアントユーザーへ連絡します。

設定項目

xfy Enterprise Client から Domino サーバーへ接続するために設定する必要がある項目は、次のとおりです。

- Notes クライアントのインストール先フォルダ
- 接続先のホスト名
- Domino サーバーの HTTP ポート番号
- 匿名でアクセスするかしないか
- ユーザー名
- パスワード

このうち、Notes クライアントをインストールしたフォルダ以外の項目は、接続先の Domino サーバーごとに設定します。

設定手順

Domino サーバーに接続するための情報は、xfy Enterprise Client の [オプション] ダイアログボックスで設定します。

1. xfy Enterprise Client の [オプション] ダイアログボックスを表示する

1. xfy Enterprise Client を起動します。
2. xfy Enterprise Client で、[ツール - オプション] を選択します。
[オプション] ダイアログボックスが表示されます。

2. Domino サーバーへの接続設定のための画面に切り替える

[オプション] ダイアログボックスの [設定項目] で、「Notes/Domino 設定」を選択します。

[オプション] ダイアログボックスの右側が、Domino サーバーへ接続するための設定画面に切り替わります。

3. Notes クライアントのインストール先フォルダを設定する

[Notes Client インストールフォルダ] に、Notes クライアントのインストール先フォルダを入力します。

[参照] をクリックして表示されるダイアログボックスで、Notes クライアントのインストール先フォルダを選択して設定することもできます。

4. Domino サーバーへの接続情報を登録する

1. [追加] をクリックします。
[追加] ダイアログボックスが表示されます。
2. [追加] ダイアログボックスの [ホスト名] に、接続先の Domino サーバーのホストを、DIIOP のポート番号を付けて入力します。

ホスト名: *DIIOP* ポート番号

[例] 接続先の Domino サーバーのホスト名が domino1、DIIOP ポート番号が 63148 の場合

domino1:63148

3. [HTTP ポート] に、Domino サーバーの HTTP のポート番号を入力します。
4. Domino サーバーへ匿名でアクセスするかしないかを設定します。
Domino サーバーへ匿名でアクセスするときは、[匿名でのアクセス] をオンにします。[匿名でのアクセス] をオンにすると、[ユーザー名] と [パスワード] はグレイアウトします。匿名でアクセスする Domino サーバーへの接続設定はこれで完了なので、操作 7.へ移ります。
Domino サーバーへ匿名でアクセスしないときは、[匿名でのアクセス] をオフにしたまま、次の操作をします。
5. [ユーザー名] に、Domino サーバーへの接続で使用するユーザー名を入力します。
6. [パスワード] に、[ユーザー名] に入力したユーザーのパスワードを入力します。
入力した文字は、「*」で表示されます。
7. [OK] をクリックします。
[オプション] ダイアログボックスに戻ります。[Domino 認証情報一覧] には、設定した Domino サーバーのホスト名が追加されます。

5. 接続先の Domino サーバーの数だけ、手順 4.を繰り返す

必要な認証情報をすべて登録し終わったら、次の手順へ進みます。

6. Domino サーバーへの接続情報の設定を終了する

[OK] をクリックして、[オプション] ダイアログボックスを終了します。

xfy Enterprise Client から Domino サーバーへ接続するための設定手順について、詳しくは下記のヘルプをご覧ください。

→ [Notes コンポーネント ヘルプ](#) Notes コンポーネントを使えるようにする

動作確認

Domino サーバーへの接続情報が正しく設定できたか確認します。確認するには、xfy Enterprise Client で新規作成した XHTML 文書に、Notes コンポーネントのオブジェクトを挿入します。

1. xfy Enterprise Client で、XHTML 文書を新規作成する

1. xfy Enterprise Client を起動します。
2. テンプレートの [標準ボキャブラリ] から「XHTML」を選択して、XHTML 文書を新規作成します。
テンプレートから文書を新規作成する手順について、詳しくは下記のヘルプをご覧ください。
→ [xfy Enterprise Client ヘルプ](#)

2. XHTML 文書に Notes コンポーネントのオブジェクトを挿入する

1. [挿入 - XML オブジェクト] を選択します。
[XML オブジェクトの挿入] ダイアログボックスが表示されます。
2. [属性] で [埋め込み] を選択します。
3. [参照] をクリックします。
[XML データの選択] ダイアログボックスが表示されます。
4. [テンプレート] をクリックします。
ダイアログボックスがテンプレートを選択する画面に切り替わります。
5. [テンプレート] の [データアクセス] から「Notes」を選択して [挿入] をクリックします。
[XML オブジェクトの挿入] ダイアログボックスに戻ります。
6. [OK] をクリックします。
XHTML 文書に Notes コンポーネントのオブジェクトが挿入され、[クエリジェネレータ] と書かれたボタンが表示されます。

3. Domino サーバーへの接続情報が正しく設定できているか確認する

Notes コンポーネントのクエリジェネレータを表示して、Domino サーバーへの接続情報が正しく設定できているか確認します。複数の Domino サーバーの情報を登録したときは、設定した Domino サーバーごとに確認します。

1. [クエリジェネレータ] をクリックします。
[クエリジェネレータ] のデータベースを選択する画面が表示されます。
2. [接続先] をクリックして表示される一覧で、接続情報の設定を確認する Domino サーバーのホスト名が正しく設定されているか、確認します。
Domino サーバーのホスト名が正しく設定されているときは、そのホスト名を選択します。
3. Domino サーバーへの接続情報が正しく設定できているか、確認します。
データベースを選択する画面の [データベース] に、接続先の Domino サーバーにあるデータベースの情報が正しく表示されているか確認します。

すべての接続先の Domino サーバーの情報が正しく表示されれば、設定は完了です。以降、xfy Enterprise Client から Notes データベースの情報を利用できるようになります。

接続先の Domino サーバーの情報が正しく表示されないときは、Domino サーバーへの接続設定を確認して修正します。

Notes コンポーネントのクエリジェネレータについて、詳しくは下記のヘルプをご覧ください。

→ [Notes コンポーネントヘルプ](#)